

STEP 進路 4月14日（金）第2号

2年生になりました。「2年生では気持ちを新たに頑張ろう」と思っている人も多いと思います。
今回は2年生スタート時の学習習慣と成績アップの関係についてまとめてみました。自分の学習習慣と比較しながら、これからどのような点に気をつけていけばよいかを考えてみましょう。

成績がよかった人・よくなかった人の2年生スタート時の学習習慣

成績がよかった人

- 平日は2時間以上、休日は3時間以上の自主学習時間を確保している
- 希望進路が決定している
- 部活動と学習の両立ができている
- 古文・漢文は予習中心の学習をしている
- 数学は宿題・復習に必ず取り組んでいる
- 英語は予習中心の学習で、毎日1時間以上を確保している

成績がよくなかった人

- 自主学習時間は1時間未満
- 進路が未定で、進路研究を先送りにしている
- 教科に対して不安感を持っている
- 古文・漢文の予習・復習など、自主学習をしていない
- 数学は、問題演習をあまり行っていない
- 英語の予習をしておらず、学習時間をほとんど確保できていない

～各教科の成績アップのヒントとなる学習習慣を見てみましょう～

国語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 古文・漢文の授業の予習への取り組み
- 古文・漢文の自主学習内容
- 国語のノートのとり方
- 本や新聞の読み方

成績アップのヒントとなる学習習慣は古文・漢文の学習法です。

成績がよかった人（成績◎）は、予習中心の学習を行い、辞書などを使って全文を現代語訳するところまでの予習に取り組んでいます。

一方、成績がよくなかった人（成績▲）は、予習は行わず、試験前の学習のみという人が多いようです。

古文・漢文の学習法について見直してみましょう。

□古文・漢文の授業の予習への取り組み（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
次の授業で学習する範囲をひと通り見ておく	10.3	11.7
本文をノートに写すが内容は調べない	14.3	13.2
わからない箇所を辞書などで調べておく	17.6	6.6
辞書などを使い全文を現代語訳しておく	32.5	2.6
ガイドや参考書などの現代語訳を書き写す	3.0	2.0
辞書で確認した語句の意味をノートに写す	4.2	3.3
その他	2.2	2.4
予習しないよう指示された	0.5	4.2
予習はしていない	15.4	53.1

□古文・漢文の自宅学習内容（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
予習・宿題	37.7	9.6
宿題・復習	11.0	13.4
予習・宿題・復習	15.0	2.8
予習・宿題・復習と自主学習	3.7	0.9
宿題と試験前の学習のみ	19.1	23.4
試験前の学習のみ	4.8	11.5
予備校・塾・通信教育に関連した学習が中心	1.9	0.7
自宅では何もしていない	6.7	36.0

データは、2016年度スタディーサポート2年生第1回全国集計結果より。「成績◎」はG T Z（学力）：S 1～S 3（難関大合格レベル）、「成績▲」はD 1～D 3（基礎・基本養成レベル）の生徒の平均回答率。
※「G T Z（学力）」は、学力の到達度をS 1～D 3の15段階の大学群で表示したものです。
※注目していただきたい点に網掛けをしています。
※データとして使用している質問は、2017年度スタディーサポートから一部改訂されています。

数学

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 数学の休日の学習時間
- 数学の宿題・授業の復習への取り組み
- 数学のすぐには解けない問題への対応
- 数学の授業理解度

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と宿題・復習への取り組みです。

成績がよかった人は、宿題や復習に取り組んでいます。成績がよくなかった人は、自主学習はほとんどしていません。

宿題や復習に継続的に取り組むことが大切です。

□数学の休日の学習時間【自宅内】（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	13.9	61.3
30分	14.0	19.3
1時間	24.2	11.7
1時間30分	14.7	3.8
2時間以上	32.9	3.5

□数学の宿題・授業の復習への取り組み（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
宿題と復習は必ずする	50.7	12.8
宿題はしていないが復習はする	4.1	4.1
宿題はしているが復習はしていない	38.4	51.6
宿題は完全にできず復習も手が回らない	3.1	11.2
復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.9	8.3
宿題も復習もしていない	2.8	11.1

英語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 英語の平日の学習時間
- 英語の授業の予習への取り組み
- 英語の自主学習内容
- 英語の授業理解度

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と予習への取り組みです。

成績がよかった人は平日1時間以上の学習をしており、本文の訳を考えるとところまでの予習をしている人が多くなっています。一方、成績がよくなかった人は予習をしていない人が目立ちます。

学習時間を確保し、毎日の予習をきちんと行うという基本的な学習習慣を再度見直すことが大切です。

□英語の平日の学習時間【自宅内】（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	18.9	64.4
30分	33.0	23.0
1時間	31.9	8.5
1時間30分	10.1	2.3
2時間以上	5.9	1.5

□英語の授業の予習への取り組み（単位：％）

選択肢	成績◎	成績▲
教科書の本文を声に出して読む	4.7	5.2
新出の単語や熟語を辞書で調べる	22.3	13.8
本文を要約しておく	2.8	4.2
本文を訳している（または訳を考えている）	28.8	6.8
わからない文法事項を参考書などで調べる	3.7	2.1
本文をノートに写し授業で書き込むよう準備	6.2	7.0
教科書のリスニングCDを聞く	0.8	0.5
予習用のワークブックやプリントに取り組む	10.8	6.5
その他	4.3	13.0
予習しないよう指示された	1.1	0.2
予習はしていない	14.2	39.8